

町立久万美術館 2025 年度自主企画展

菅亮平 The Long Wait

Ryohei Kan | The Long Wait

2025.9.13(土) - 12.7(日)

町立久万美術館

791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生二番耕地 1442-7

開館時間 9:30-17:00 (入館は 16:30 まで)

休館 月曜日(ただし、9.15/10.13/11.3/11.24 は開館)

9.16/9.24/10.14/11.4/11.25 は休館 *9.13 は開展式開催のため、13:00-14:30 の間は展示室への入室を休止します。

観覧料 前売券(一般のみ) 500 円 / 一般 1,000 (700) 円 / 高大生 400 (300) 円 / 小中生 300 (200) 円

* 前売券は 8 月下旬頃より県内プレイガイド等で販売開始。* () 内は 8 名以上の団体、高齢者(65 歳以上)の方の割引料金。

* 障害者手帳(身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳)をお持ちの方とその付添者(1 名)は無料。

主催 町立久万美術館、久万高原町、愛媛新聞社、愛媛 CATV

後援 南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、FM 愛媛、高知新聞社、RKC 高知放送、愛媛県、愛媛県教育委員会、

松山市、松山市教育委員会、久万高原町教育委員会

助成 一般財団法人自治総合センター、公益財団法人 野村財団、公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 花王芸術・科学財団

愛媛県中山間地域に位置する町立久万美術館では、2025年度自主企画展として、現代アートの領域で活動してきた愛媛県出身の美術作家・菅亮平の個展を開催する。菅は、「空虚(ヴォイド)」を主題に、多様なメディアを駆使しながら、世界の不確かさや記憶の残滓を辿るような探求を行ってきた。本展では、松をめぐる文化史を主題に据え、自然豊かな立地にある当館の環境や久万高原町の歴史と響き合う展示構成となっている。

菅が松に関心を抱いた契機は、広島において出会った被爆した能道具にある。2023年、能を主題とした制作に取り組み始めた菅は、能舞台の空間性に注目し、とりわけ舞台に描かれる松の絵に着目した。松は、冬でも青々と葉を茂らせる常緑樹として不老長寿の象徴とされ、影向——すなわち神の降臨を受ける樹木として——信仰の対象ともなってきた。日本人は、松に永遠性と超越性を託し、造形を通してその理想像を追求してきたのである。

他方、菅はこのような象徴的意味に加え、松煙墨や松根油といった、松が人々の生活において果たしてきた実用的側面にも強い関心を寄せている。本展では、象徴性と実用性という両義的な観点から松の文化史を見つめ直し、日本人の精神と生活に深く根差してきた松の多様な相貌と、菅がこれまで追究してきた「空虚」とを交差させ、「松の空虚」を多層的に浮かび上がらせる。また本展は、かつて松林が広く分布していた頃の久万高原町の風景に想いを馳せ、その記憶を呼び起こす試みでもある。

展覧会タイトル「The Long Wait (「長い待ち時間」の意)」は、「松」の語源を「待つ(wait)」とする説に着想を得ており、時の流れの中で人々が抱いた祈りや期待を想起させる。旧久万町出身の母をもつ菅は、自身も久万の自然の中で多くの時を過ごしたという。自己のルーツとも言うべきこの地で、日本文化の本質である「自然との関係性」を問う、作家の新たな展開にご注目いただきたい。



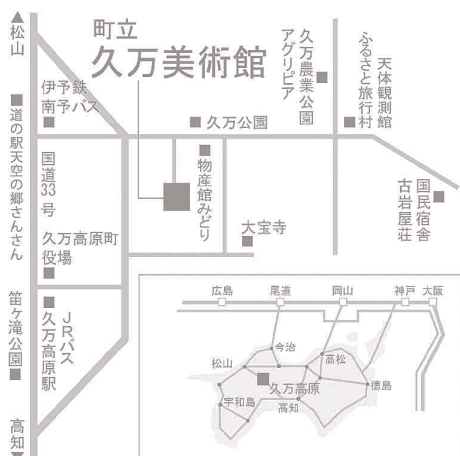
Waiting for Deity - Yogo no Matsu at Kasuga Taisha
2023年/38.0×57.0cm/インクジェットプリント

町立久万美術館

〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7
電話=0892-21-2881 / Fax=0892-21-1954
<https://www.kumakogen.jp/site/muse/>

【アクセス】

- ・JRバス=松山から70分(ほぼ2時間毎、土・日・祝運休あり)。
予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車徒歩約10分。
- ・車=松山市内から国道33号線で約50分、高知市内から約2時間。
松山自動車道松山ICから国道33号線を高知方面へ約30分、
久万中学校前交差点を左折、県道12号線(西条久万線)を0.8km東進、右側。
駐車場=45台(無料)



【イベントプログラム】

1. トークイベント「松の空虚」
登壇=菅亮平+本田李璃子(町立久万美術館学芸員)
日時=9月13日(土) 15:00-16:00
2. トークイベント「崇高と空虚の創造性」
登壇=菅亮平+星野太(美学者/東京大学大学院准教授)
日時=9月20日(土) 14:30-16:00
3. トークイベント「模型写真論」
登壇=菅亮平+伊藤俊治(美術評論家/東京藝術大学名誉教授)
日時=11月8日(土) 14:30-16:00
4. トークイベント「学芸員による作品解説」
講師=本田李璃子(町立久万美術館学芸員)
日時=9月27日(土)、11月3日(月・祝)、11月22日(土) 各14:30-15:00
5. ワークショップ「イマジナリー・フォレスト」
講師=菅亮平
日時=11月9日(日) 13:00-16:00

* 詳細は当館のウェブサイトをご覧ください。

【文化の日 無料開放デー】

日程=11月3日(月・祝)
当日はどなたでも無料でご覧いただけます。

